

第1節 よこはま人

生活エンジョイ余裕人



生活にゆとりをもって楽しむ余裕派。あらゆる面で積極性があり、また社交的で、知らない人の集まりでも、すぐ友だちをつくることができる。

衣食住や趣味は本格志向で、洗練されたものを好む。おいしいと評判のレストランにはさっそく行ってみるし、インテリアにも凝る。趣味は、美術、ゴルフ、登山、読書、と多彩。旅行も好きで、まとまった休みがとれると家族で海外旅行をする。

また、健康志向が強く、スポーツクラブに通って、からだをきたえている。

いわゆる「進歩派」で、女性も職業をもって自立すべきだという考えに賛成し、共働きなら当然家事は夫婦で分担する。また、年をとっても現在のように、都会で暮らしながら生活を楽しもうと考えており、子どもとは別居でもかまわない、という人たちである。

裕の衣食住

- 衣：高くても質のいいものを身につけたい。
センスに自信があり、人目を気にせず自分の好みの服装をする。
- 食：味や器にはうるさい。
家では良い材料を使うようにしている。
わが家の伝統料理といえるものがある。
- 住：インテリアには凝る。
- 医：健康のために、スポーツをしている。
- 遊：趣味のサークルに入っている。
旅行が好きで、海外にも何度も行っている。
- 交：社交的で、知らない人とでもすぐ友だちになれる。
ボランティア活動をしたい。
- 金：財テクに非常に興味がある。

裕と横浜

- 市政への評価：不満を感じている面は、駅周辺の整備など。いっばう、スポーツ施設や役所の窓口サービスは良くなってきていると思う。
- 市政への要望：生涯学習の場の整備や、緑・自然の保全、横浜らしい個性と魅力ある街づくりを期待している。
- 定住意識：住み続けるつもり。持ち家であるし、東京に近くて便利であるにもかかわらず、緑や自然に恵まれているから。
- 横浜のイメージ：エキゾチックで開放的。現代的な都市、というイメージ。
- 次代に伝えたい横浜の姿：海外との交流のさかんな国際性の豊かな街。

CASE STUDY



テレビ番組は「ニュースセンター9時」や「7時のニュース」、ゴルフ番組をよく見る。

なぜか加山雄三が好き。



海外でも使えるクレジットカードを、たくさん持っている。



趣味はゴルフと読書。

クラシックファンでコンサートにもよく行く。モーツァルトが好き。



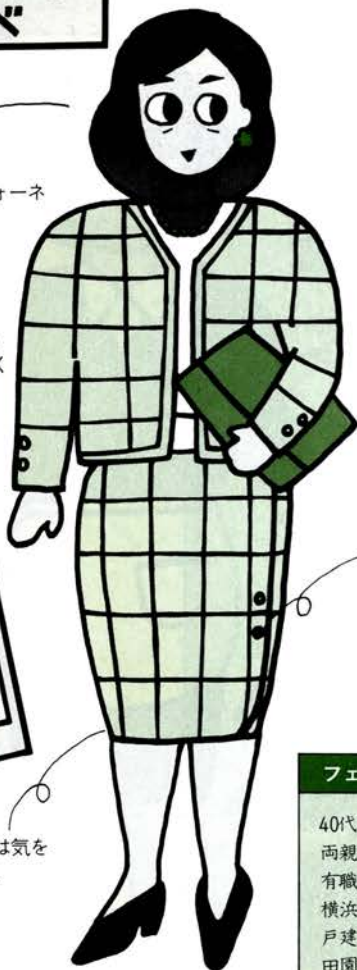
シャンソン、カンツォーネ、ラテン音楽も聴く。

地域のミニコミ誌や、「暮らしの手帖」をよく読む。



「プレジデント」などのビジネス誌や「週刊朝日」などを購読している。

よこはま市民生活白書'88 ⑤【第一章】くらし



美術に興味がある。自分でも絵を描いたり七宝焼をつくったりする。お茶やお花もたしなむ。

おしゃれには気を使っている。



フェイスシート

50代男性
妻と子ども3人
役員・管理職 東京通勤
市内在住13年
戸建て 持ち家
田園都市線沿線在住

フェイスシート

40代女性
両親、夫と子ども1人
有職主婦 東京通勤
横浜生まれ
戸建て 持ち家
田園都市線沿線在住